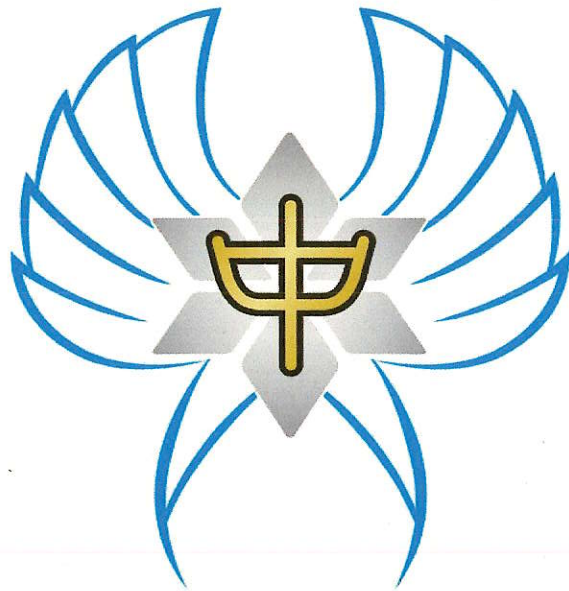


令和7年度

評価計画



目黒区立大鳥中学校

令和7年度 目黒区立大鳥中学校の「学習の評価」について

1. 学習評価の目的

学習指導要領において示された基礎的・基本的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度の育成を、確実に図ることにあります。

2. 目標に準拠した評価（絶対評価）

観点別学習状況の評価と評定は、ともに目標に準拠した評価（絶対評価）とします。

(1) 観点別学習状況評価は

学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、生徒の実現状況を分析的に捉えるもの。

(2) 評価項目（3観点）

① 知識・技能

各教科の知識・技能の習得状況について評価するとともに、それらをすでにもっている知識や技能と関連付けて、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に習得しているかについても評価する。

② 思考・判断・表現

知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかを評価する。

③ 主体的に学習に取り組む態度

知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。

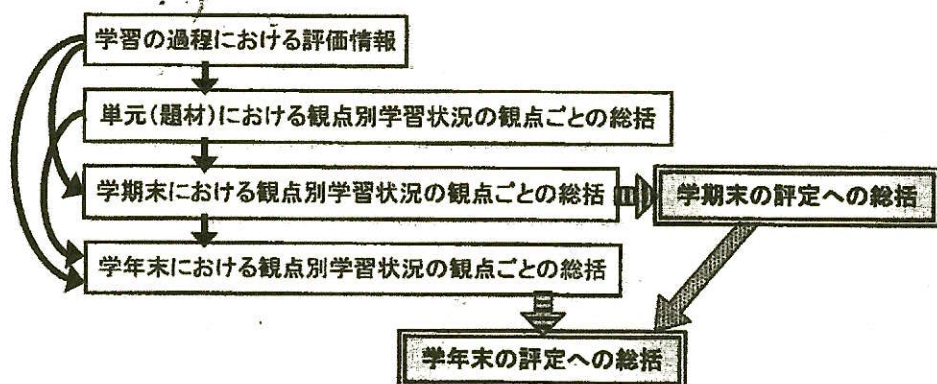
＊ 単元や題材のまとまりごとなど、それぞれの実現状況を把握できる段階を精選して①～③の観点評価を行う。

(3) 観点別評価（A・B・C の 3段階とする）

評価	評価の基準
A	十分満足できる : 80%以上 の達成値である場合
B	おおむね満足できる: 50%以上 80%未満 の達成値である場合
C	努力を要する : 50%未満 の達成値である場合

・評価について

(1) 評価から評価への総括(観点別学習状況の評価を総合的に評価します。)



(2) 1、2年生の評価・評価

前期評価: 4月～10月

後期評価: 10月～ 3月

学年評価: 4月～ 3月

* 学年の評価・評価は、前期を50%、後期を50%

(3) 3年生の評価・評価 ※後期評価は出しません。

3年級評価: 4月～ 7月

調査書(内申点): 4月～12月

* 調査書の評価・評価は4月～12月末までを総合的に評価する。

(4) 総合的な学習の時間 及び 道徳の評価・評価

実施した「総合的な学習の時間」の活動及び「道徳」で、生徒の学習状況やその特徴を文章で記述する。

(5) 評価基準 (5・4・3・2・1 の 5段階とする)

学習の過程における評価情報をもとに各教科の目標に照らして学習の実現状況を総合的に評価する。

評価	評 定 の 基 準
5	十分満足できると判断し 特に高い程度 : 90%以上 の達成値である
4	十分満足できると判断されるもの : 80%以上 90%未満 の達成値
3	おおむね満足できると判断されるもの : 50%以上 80%未満 の達成値
2	努力を要すると判断されるもの : 20%以上 50%未満 の達成値
1	一層の努力を要すると判断されるもの : 20%未満 の達成値である

令和7年度 国語科 評価・評定

1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	・漢字 ・文法 ・古典の知識 ・語彙、ことば ・書写	1
思考・判断・表現	「話すこと」：スピーチ活動など 「聞くこと」：聞き取りテスト 「読むこと」：定期考査 「書くこと」：定期考査、ワークシート 200字作文、書写	1
主体的に学習に取り組む態度	・ノート ・ワーク ・自己振り返りシート ・授業態度、(読書カード)	1

令和7年度 社会科 評価・評定

1 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	・定期考査 ・小テスト・単元テスト ・ワークシート ・課題（長期休業中の宿題やワーク等） ・ファイル、ノート提出	各観点を1対1対1で評価します。
思考・判断・表現	・定期考査 ・小テスト・単元テスト ・ワークシート ・課題（長期休業中の宿題やワーク等） ・ファイル、ノート提出 ・授業中の取り組み	
主体的に学習に取り組む態度	・定期考査 ・ワークシート ・課題（長期休業中の宿題やワーク等） ・ファイル、ノート提出 ・授業中の取り組み	

令和7年度 数学科 評価・評定

1. 目 標 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力, 判断力, 表現力等を育むとともに, 数学のよさを知り, 数学と実社会との関連についての理解を深め, 数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど, 数学的に考える資質・能力を育成すること。

2. 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化して, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度

3. 評価材料と評価割

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 小テスト ・ ワークシート ・ 課題 (ワーク, レポート) ・ ノート	それぞれの観点を 1 : 1 : 1 の割合で評価します。
思考・判断・表現	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 小テスト ・ ワークシート ・ 課題 (ワーク, レポート) ・ ノート	
主体的に学習に取り組む態度	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 小テスト ・ ワークシート (授業での取り組み) ・ 課題 (ワーク, レポート) ・ ノート	

令和7年度 理科 評価・評定

1 目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題	各観点を1:1:1で 評価します。
思考・判断・表現	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題	
主体的に学習に取り組む態度	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題への取り組みと成果 ・提出物 ・授業中の取り組み	

令和7年度 音楽科 評価・評定

1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作であらわしている。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	ワークシート等の記述内容・ 実技・定期考査	1
思考・判断・表現	ワークシート等の記述内容・ 発言内容・定期考査	1
主体的に学習に取り組む態度	活動の様子・ワークシート等の記述内容・ 発言内容	1

令和7年度 美術科 評価・評定

1 目標 表現や鑑賞の活動を通して美術への理解を深め、美的な感性を高めながら、豊かな心を育む。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、取り組もうとしている。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	制作活動 提出作品 定期考査 ワークシート等	各観点を、 1:1:1の割合で 評価します。
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度	制作活動 提出作品 ワークシート 準備物等	

令和7年度保健体育科 評価・評定

- 1 目標 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	・各単元での記録 ・各種技能テスト ・目標への達成度 ・授業での理解 ・自己評価(学習カード) ・単元テスト、定期テスト	1
思考・判断・表現	・学び方(練習方法、ゲーム、計測)の工夫 ・話し合い活動等 ・審判 ・自己評価(学習カード) ・定期テスト	1
主体的に学習に取り組む態度	・授業の見学 ・授業(運動)への取り組み ・授業の準備、片付け ・仲間との協力・協調性 ・話し合い活動等 ・保健ノート等の学習記録 ・学習カード等の記述	1

令和7年度 技術・家庭科(技術分野)評価・評定

1 目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらを係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	定期考査 ワークシート 課題 作品、実技 ファイル提出	1
思考・判断・表現	定期考査 ワークシート 課題 作品、実技 ファイル提出 授業中の取り組み	1
主体的に学習に取り組む態度	定期考査 ワークシート 課題への取り組みや成果 ファイル提出 授業中の取り組み	1

令和7年度 技術・家庭科(家庭分野)評価・評定

1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・主体的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指す。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
知識・技能	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
知識・技能	定期考査 ワークシート 課題 作品、実技 ファイル提出	1
思考・判断・表現	定期考査 ワークシート 課題 作品、実技 ファイル提出 授業中の取り組み	1
主体的に学習に取り組む態度	定期考査 ワークシート 課題への取り組みや成果 ファイル提出 授業中の取り組み	1

令和7年度 英語科 評価・評定

1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語により聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点と趣旨

観 点	趣 旨
①知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 評価材料と評価割合

観 点	評 価 材 料	割 合
① 知識・技能	言語活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、スペリングコンテスト、リスニング	1
② 思考・判断・表現	言語活動への取組、単元テスト、表現活動（パフォーマンステスト、英作文等）、定期考査、単元テスト、リスニング、文化祭作品	1
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語活動への取組、パフォーマンステスト等への取組、提出課題への取組	1

※①②③の観点の割合を、それぞれ1:1:1とする。